



第4回教育実践特別公開講座「児童虐待の現状とSCの役割」

講師;生徒指導課 藤田 尚史 指導主事

京都市スクールカウンセラー 阿部 昇 スーパーバイザー



第4回教育実践特別公開講座は、まず、生徒指導課の藤田尚史先生に「児童虐待の現状」についてお話しいただきました。身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト（養育の拒否や放置）・性的虐待および教育虐待のそれぞれの内容を、事例をもとに紹介してくださり、子どもの人権を守るため、そして虐待の早期発見のために、教師としてどのような力が必要か、またチーム学校としてどのような対応をすべきかの具体を知ることができました。

次に、京都市スクールカウンセラーの阿部昇先生に「教職員とスクールカウンセラーとの連携と協働」についてお話しいただきました。カウンセリングを求めて来室する児童・生徒は、何を求めているのでしょうか。スクールカウンセラーの活動である「3つのC」についても教えていただきました。また、児童・生徒の教室での困り感を「型」として見ると、誰にでも弱点があり得るのだということを、事例を通して感じたことと思います。ストレス・マネジメント教育プログラムの実践例も多く紹介してくださり、教職員とスクールカウンセラーが連携し、協働して児童・生徒を「観る」ことの大切さを教わりましたね。

第8回京都市教育学講座 講師;保護者3名 「先生を目指す塾生に期待すること ～保護者の立場から～」



第8回の教育学講座では、小学校、中学校、総合支援学校でそれぞれPTA役員をされている3名の保護者の方に、パネルディスカッションの形で話を聞きました。保護者の方がこれまでの経験の中で印象深く残っている出来事や先生について、具体的なエピソードを交えながら話ししてくださいました。親として学校や先生に期待することや塾生へのメッセージの中で、「人権問題や環境

問題等、それらを解決しよりよい社会にしていけるために教育はとても重要な役割を担っている。様々な人が生きやすい社会を目指すためにできることを一緒にがんばっていききたい」「先生の言葉はとても影響力を持っている。人一倍、言葉や態度に気を付けて欲しい」「真剣に子どもと向き合って同じ目の高さで子どもの話を聞いて欲しい。優しく話を聞いてもらえる先生になって欲しい」と話してくださり、皆さんは何を感じ取ったのでしょうか。

分散会では、「保護者との信頼関係をどう築くのか？」というテーマで、初めてのZoomによる分散会を行いました。保護者との信頼関係を築くためには、まず子どもとの信頼関係を築くことが大切です。そのためには、日頃の行いはもちろんのこと、わかる授業と学級経営の大切さにも目を向けて欲しいと思います。

第8回京都市教育学講座【講義】

「先生を目指す塾生に期待すること

～保護者の立場から～を受講して

仲間のレポートに学ぶ

今回の講義で保護者の方の話を聞き、生徒一人一人に保護者の方がおられ、その保護者の方が安心して子どもを通わせられる環境作りがとても大切なのだと感じました。なぜなら、その安心が保護者だけでなく生徒自身と教師との信頼関係に繋がるといったためです。信頼を築くと言っても難しいことだと思いますが、人は安心できる人には何でも話すことができると思うので、生徒や保護者が教師や学校全体に安心を抱けるということは、信頼を築く上で必要だと思いました。

そのためには、教師自身が生徒一人一人のことをよく観察するだけではなく、教師同士で些細なことでも共有し、一人一人の生徒を学校全体で見守る体制が大切だと思います。また、教師同士だけではなく、保護者の方との関わりも大切にする必要があると思います。保護者の方は、私達が思っている以上に学校のことを知りたいと思われていると講義を通して知りました。生徒には学校での顔と家庭での顔があり、生徒の何気ない情報も保護者にとってはとても嬉しいものなのだと思います。逆に、教師にとって家での生徒の様子もとても重要な情報になると思います。しかし、教師と保護者が直接会う機会は多いとは言えず、普段あまり来校されない保護者の方との繋がりを持つ工夫をしていく必要があると思いました。

講義を通して、私には教師としての自覚を持った行動ができていない自信がなかったと感じました。教師の言動は直接生徒に影響を与え、また、保護者の方の信頼にも関わります。教師は本人が意識していない些細な言動にも気を払う必要があると知りましたが、今の私が生徒の見本となるような姿とは自信を持って言えません。今はまだ教師ではないですが、今後教師になれば1年目であれ「教師」として見られると思うので、普段から気を付けていきたいです。

教師になりたての頃は、保護者の方々とお話をすることに緊張したり、話題に困ったりもしますが、保護者の方々も、どんな先生だろうと緊張もされますし、子どもを預けるからには、先生から好かれたいとも考えておられます。自分の子どもが大切にされていると感じていただくことが、一番の信頼関係（先入観）に繋がりますね。その先入観は、子どもからの情報によるところが大きいですから、やはり、しっかりとした授業力と、日頃の子どもとの接し方が肝心ですね。

京都市教育学講座⑧は Zoom で分散会を行いました！

2/6(土) 14:30～15:45



9組



2組



4組



1組



3組



7組



6組



8組



5組



10組

2/9(火) 19:00～20:15



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「教育の力で未来を創出しよう！」
京都市教育委員会